

高木竜馬さん応援レポート

高木竜馬ピアノリサイタル“ウィーンからの風”

2015年8月23日(日)
京葉銀行文化プラザ(千葉県千葉市)

一時帰国のフィナーレを飾るリサイタル



浜松国際ピアノアカデミー コンクール 優勝記念

高木 竜馬 ピアノリサイタル

“ウィーンからの風”

7月16日(木) 午後7時 [開演] 午後8時30分 [開演]
カワイ表参道 2階 コンサートサロン「ハウゼ」
全席自由 / 一般2,000円 会員2,500円

7月26日(日) 午後2時 [開演] 午後1時30分 [開演]
わたなべ音楽堂 Belline Saal
全席自由 / 一般2,500円 学生2,000円 お茶・菓子付

8月23日(日) 午後1時30分 [開演] 午後1時 [開演]
京葉銀行文化プラザ 3階音楽ホール(旧 ばるホール)
全席指定 / 前席2,000円 A席1,500円 学生1,000円
午後2時 一般2,500円 学生2,000円 お茶・菓子付

ウィーン国立音楽大学大学院に在学中の高木さん、6月末に一時帰国後の2か月間、毎週のように演奏会を開催するなど、精力的な日々。そのフィナーレを飾るソロ・リサイタル、「浜松国際ピアノアカデミーコンクール優勝記念『ウィーンからの風』」。

7月の表参道(カワイ表参道)、五反野(わたなべ音楽堂)に続く第3弾は、高木さんの地元である千葉での開催。高木さんを幼い頃から知るファンも詰めかける。

ピアノは「Shigeru-Kawai EX」(株河合楽器製作所)。「浜松国際ピアノアカデミーコンクール」時に、3社の公式ピアノの中からセクションしたピアノを運び込んでの演奏となる。

プログラムには高木さん自身による詳しい楽曲解説が掲載され、この日の楽曲に対する深い理解と思い入れがうかがわれる。

リサイタルの最後には、「事前人気投票で決めるアンコール」演奏が予定され、13の候補曲の中から選ばれた7曲が演奏されることになっており、これもまた楽しい企画。



Shigeru-Kawai EX (上)

響きわたる強く柔らかく豊かな音色



プログラムは、ベートーヴェンのピアノソナタ第21番「ワルトシュタイン」でスタート。

ドビュッシー「水の反映」、シューマン「アベッグの名による変奏曲」、ショパン「スケルツォ2番」と続く。ピアノ一台によるものとは思えないほど、深く多層に響く豊かな音色。

リサイタル後半ではブラームス「4つの小品」、リストの「ピアノソナタ」が演奏される。

柔らかく、そして力強い音色は聴衆を圧倒。客席からの割れんばかりの拍手。「ブラボー」の声がやまない。

アンコールでは、聴衆による事前人気投票で選ばれた7曲が、一気に演奏され、さらに聴衆を魅了する。

まさにフィナーレ、誰もが高木さんのピアノを堪能し、贅沢な時間を過ごした。

すぐ後ろでは

「竜馬さん、弾き方が変わったわ。さらに凄くなっている！」と興奮気味なファンの方の声。



《プログラム》

ベートーヴェン/ピアノソナタ 第21 番

ハ長調 作品53《ワルトシュタイン》

ドビュッシー/映像 第1集より 水の反映

シューマン/アベッグの名による変奏曲 作品1

ショパン/スケルツォ 第2番 変ロ短調 作品31

ブラームス/4つの小品 作品119

リスト/ピアノソナタロ短調

《アンコール演奏曲》

リスト/愛の夢 - 3つのノクターンより

第3番“おお、愛しうる限り愛せ“

ベートーヴェン/エリーゼのために

ラフマニノフ/幻想小品集より 前奏曲 嬰ハ短調《鐘》

ラフマニノフ/パガニーニの主題による狂詩曲より

第18番変奏曲

ショパン/幻想即興曲

ドビュッシー/喜びの島

ショパン/英雄ポロネーズ

今夏研鑽した新たな奏法を披露

終演後のロビーでは、数日後にウィーンへと戻り、しばらく日本を離れる高木さんの前に、ファンの方々の長い列。

長年のファンの方々は、高木さんが、さらに新たな領域へと確実にステップを伸ばしていることを堪能されたもよう。

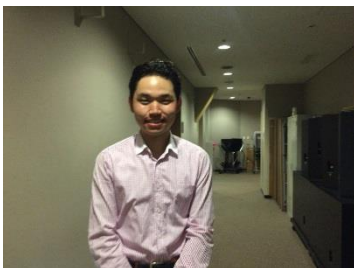
終演後、ロビーにて挨拶に立つ高木さんの前には、ファンの長い列。



撤収前のあわただしいなか、少しだけ感想を尋ねることができた；

「……このプログラムは、ベートーヴェンなどドイツ的な曲から、ドビュッシーやショパンなどフランスの香りのする曲、そしてまたドイツ（ブラームス）といったように、カラーの異なる曲を散りばめた構成で、それぞれ弾き方やタッチを変えて弾いていく、それをじっくり研究するいい機会でした」

「…8月の半ばに、ロシアからいらした先生のレッスンを受け、また新たな弾き方（ロシア奏法）を教えていただきました。今日は、その時教えていただいたことをメインに、これまでの弾き方（ドイツ奏法）と両方の奏法で演奏しました」



撤収時間が迫るなか、楽屋裏でパチリ。充実の笑顔です

数日後には、ご本人のFacebookページに投稿も；

『皆様、先日のリサイタルにお越し下さいまして、有難うございました！

… 2ヶ月間、リサイタルやカワイ・ロシアンマスタークラスを通して、このプログラムをじっくりと練り込んだ傍ら、バリトンやチェリストの方との共演、名曲コンサート等、多角的に様々なことを経験することが出来ました。

当日も、7月のリサイタルに続き、Shigeru Kawai EXを浜松から搬入して頂き、演奏いたしました。カワイの皆様、有難うございました！

今回の滞在では、練習時間を確保する必要性に併せて、冷房完備の練習室が世界で最も快適と思われましたので(笑)、必然的にピアノの前に座る時間が圧倒的でした。その時間を通して、改めて、底が見えないほど深い世界に魅入られました。10月からは、ウィーンとイモラとの併修が始まりますので、少しでもその、魅惑的な世界の秘密に近づけるように、頑張ります！』

この秋からは、イタリアのイモラ国際ピアノアカデミーに併修し、ロシア奏法の研鑽に励む予定であり、ますます充実した留学生活となるもよう。

高木さん、素敵な演奏でした。
また聴かせてください！

浜松国際ピアノアカデミー コンクール 優勝記念

高木 竜馬 ピアノリサイタル

“ウィーンからの風”



撮影／三好 英輔

7月16日(木) 午後7時 開演 午後6時30分 開場

会場 カワイ表参道 2階 コンサートサロン「パウゼ」

〒120-0801 渋谷区神宮前5-1-1 サウツおかし山み 03-585-8211 sagakadidokusha@kawai.jp

全席自由／一般3,000円 会員2,500円

最寄り駅
表参道駅
A10出口
すぐそば



7月26日(日) 午後2時 開演 午後1時30分 開場

会場 わたなべ音楽堂 Belline Saal

〒121-0813 足立区中目黒1-12-2 サウツおかし山み 03-5866-0922 belline_saal@watanabe.or.jp

全席自由／前売3,500円 当日券4,000円 学生2,000円 お茶・菓子付

最寄り駅
三軒茶屋駅
B1出口
徒歩15分



8月23日(日) 午後1時30分 開演 午後1時 開場

会場 京葉銀行文化プラザ 3階音楽ホール(田 ばるるホール)

〒203-0813 千葉市中央区宮土屋1-1-2 サウツおかし山み 090-4128-8235 damika_tokag@city.chiba.jp

全席指定／S席3,800円 A席3,300円 学生2,000円
バルコニー席2,800円(舞台全体が見渡せません)

最寄り駅
新大塚駅
B1出口
徒歩15分



主催／カワイ音楽振興会 わたなべ音楽堂 コンサートサロン「パウゼ」 協賛／カワイ音楽振興会
後援／日興文化協会 公益財団法人 千葉県文化振興財団 公益財団法人 千葉市文化振興財団 (後)両合衆音楽会 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピナコ)



写真：川口 孝

プロフィール

生年月日 1992年

高木 竜馬 RYOMA TAKAGI

1992年千葉県生まれ、22歳。渋谷幕張高校在学中にウィーン国立音楽大学コンサートピアノ科に首席合格。現在、同大学院に奨学生として在学し、ピヤエス・クリスト氏よりピアノ技法を学ぶ。今後からは、イタリアのイモラ国際ピアノアカデミーに併修し、ボリス・ベトレンスキー氏のロシア技法の研鑽に励む。

2歳よりピアノを始め、7歳よりエレナ・アシュクナージ女史に師事、16歳より中村祐子、ミハエラ・クリスト、アリエ・ヴァルディ氏に師事する。加えて、21歳よりノルマ・マッテオス・コダ氏の自宅レッスンに通い、ウィーン技法の神髄に触れる。室内楽はクリスト・エックナー氏に師事。これまでに、A.セメツキー、S.エーデルマン、T.ゼリグマン、D.タイツェン、A.ナセドキン、D.ロツフェ、A.ヤシンスキー、A.キューイット、N.フィッシャー、V.トロップ、S.ハフ、G.ジッターバート(古楽器)、R.ブラウクハム(フォルテピアノ) 各氏等から薫陶を受ける。音楽学を三ツ石潤司氏に師事。指揮法は小澤征爾氏からレッスンを受け、現在、ウィーン国立音楽大学で指揮伴奏助手を務め湯浅勇治氏に師事する。

第1回日本チャイコフスキーコンクール、モスクワ第2回モイグウスフェスティバル、第1回国際ピアノコンペティション「ローマ2004」、キエフ第6回ワグネル国際ピアノコンクールで各々優勝。本年度は、若手登竜門として知られる第19回浜松国際ピアノアカデミーコンクールで第1位に輝く。また、一世紀を超える伝統をもつウィーンの第2回エレナ・ロバコシェナワコンクールで第1位。

ドイツカールスルーエ、モスクワ音楽院大ホール、ローマナポリ・ロヴァッレ、セロラブリハーモニアホール、ウクライナ国立フィルハーモニアホール、キエフ国立オペラ座、ニューヨークスタインウェイホール、みなとみらい・大ホール、新国立劇場、紀尾井ホール、千葉芸術文化会館大ホール、水戸佐川文庫、くまがや川崎シンフォニーホール、大塚フェニックスホール、モスクワクレムリン宮殿、ウィーン楽友協会、ウィーンコンツェルトハウス等々にて演奏。ロシアヤロスラブリ、ウクライナ国立フィル、東京交響楽団、東京フィル等々と共演。TV「題名のない音楽会21」、「(東京の夏)音楽祭」等に出演。ウィーン楽友協会コンサートシリーズ14年連続で出演。(公財)江崎記念財団奨励学生。

お客様が人気投票で決めるアンコール

お客様の投票で人気の名曲を、約30分間、アンコールとして演奏させていただきます。デミカ「らくらく」チケットサービスをご利用のお客様はご購入時に、その他のお客様はコンセルヴァトワール デミカまで、下記の曲目から、ご希望の曲を、何曲でもお伝え下さい。

- | | |
|-----------|------------------|
| トスカ・カッラティ | ① ソナタ 市民調 K.380 |
| トモツナグサ | ② トルコ行進曲 |
| トベーター・ヴェン | ③ エリーゼのために |
| トショワ | ④ ノクターン 第1番 変ロ短調 |
| | ⑤ 曲 ① Op.25-10 |
| | ⑥ 英雄ポロネーズ |
| | ⑦ 幻想即興曲 |

- | | |
|----------|---------------------|
| トフルベニス | ⑧ ナヴァーラ |
| トドヴィッシー | ⑨ 喜びの島 |
| トサティ | ⑩ ジュネバディ第1番 |
| トラファニノフ | ⑪ 前奏曲(鐘) Op.3-2 |
| | ⑫ マリガール・ユグ・ノリエー・ファン |
| | 第18交奏曲 |
| トプロコフィエフ | ⑬ 悪魔的暗示 Op.4-4 |

ご購入・お問い合わせ

デミカ「らくらく」チケットサービス

お電話、メールで「らくらく」ご購入。
最良席チケットを、ご自宅に無料で郵送。

コンセルヴァトワール デミカ / 090-4430-0826 demika_takagi@nifty.com

チケットぴあ (8/23 公演のみ、8/31 発売) Pコード: 265-785 <http://pia.jp/t> 0670-02-9999 (24時間受付) セブンイレブン・キオスク、駅でもご購入頂けます。

千葉市内各ホール: 千葉銀行文化プラザ7階 043-202-1790 千葉市民会館 224-2431 千葉市文化センター 224-8211 (8/23 公演のみ) 千葉市若葉文化センター 237-1911 千葉市美浜文化センター 270-5619 千葉市男女共同企画センター 209-8771
インターネット販売 / https://webchiba.f-cp.jp/cultosj/reserve/gin_init

この世紀の音楽論争の本質は、単なる形式論などではありません。「作品の形式と精神的内容は、きわめて厳密に一致し、相互に影響を与えていないか」という点の自覚通り、リストはこの「ソナタ」において、古典派のみならずキリスト教宗叙教皇の源泉でもある二元論的な善悪の概念とそれ自身を、混沌の境に追いやったのです。それは左の面ごとに、各主題に「善」「悪」の両者の役割を担わせ、「善」のうしろめたい「悪徳」のようである「新たな」誕生した何者かを、この「ソナタ」の「宇宙」を支配させているのです。

象徴的なのは、曲を開閉する最後の音で、大抵音部を使った「口舌」、上声では右長調の主和音が「神の救済の鏡」のように鳴っているにもかかわらず、最後の最後に「口舌」だけを弾かせることによって、右長調なのか、それとも半調に転じて曲を終えたのかさえ、混沌させます。「この何者かとは、果たして「光」か「闇」か、「善」なのか「悪」なのか、リストは黙して語らず、その判断は、私たちに聴者に委ねられます。

この大作は、第一楽章で書かれていますが、大抵3部にわかれています。これを「提示部→展開部→再現部」と捉えることができます。

第1部「提示部」*Lento assai*

導入部 *Lento assai* の下書き原型図に於いて、主部の *Allergic allegro* という、第1主題が提示されます。正のオクターヴ・ユニゾンにより、極めて重要機軸 が提示され、続いて左手によって *c-musica* の何回音階を行符化した主要動機群が提示されます。全体を通じて、この2つの主要動機は、極めて重要な働きを見せ、この主要動機機軸によって、曲が展開されています。様々な機軸の後、オクターブ・パッセージに突入し、次いで、冒頭の下降音階動機が展開される。その後、長調の第2主題 *Grandioso* が、右に左腕に提示されると、あの2つの主要動機群が、多量多回数演奏されて主題の変容と導きます。この変容には歌唱的要素と、終命曲奏を提示ながらも、曲はまた広大な大小宇宙を形勢しているもので、即て主題変容が再現され、主要動機群 が従来のオクターヴ・ユニゾンで登場し、いざ真しみに溢れた *Recitativo* を示す頃には、主筋の動き更に増殖し、曲は主題に展開へと向かいます。

第2部「展開部」*Andante sostenuto*

連続した第1部に対して、突然、全く等閑気味な第2部が提示されます。第1楽章で導かれた第1主題は、意匠に誘われておりとてもよく出て来ますが、ここから主要動機群が ppp の *ad libitum* で訪れられ、次第々々、遠くの方へ消えて来るように徐々に暗くなる第2主題が出現し、そして主要動機群も「休息中」(別項)に入ります。第2主題は、奇々怪々、趣意あふれる「歌謡曲」の趣意を帯びつつ、ついに、第3主題が第1部と同様に受け入れられる。この曲の音楽言語は、後述諸作の如く流麗な美しさに加え、常に、右手の下、低音線と左手の和音とにより、奥行きに満ち溢れたい知性的な筆致が散見されます。しかし、その真意も立ち寄るを見え始め、音程も鋭くなり、最後は、再び奥行きに再現に入り、奥行きに満ち溢れます。

第3部「再現部」*Allegro energico*

冒頭主題が、音程の不気味さや伴って再現された後、第3主題が、断崖に断絶を告げるような「リストのプードル」によって喚起されます。その後、第2楽章によって、曲は印象派(展開されているが)、圧巻の *Presto* がこのゴッダー入りの場で鳴ります。さて、冒頭主題のオクターヴ・ユニゾンでの管弦楽器による、主要動機群 は対称的、オクターヴ音階が組織化し上下行します。第2主題は、提示部以上の基盤を辿りながら導かれ、反響的の知り高くなるので、歌謡曲の如く美しい一連の音程で、幾度たりながら放浪しながら再び音で音で、突然、右長調の機軸によって、反響性は隠れ去ります。フィナーレの目録・使徒の音程、第3主題が再び登場し同様の音を、次に、2つの主要動機群の対称性に再現されるが、あの何者かの影が再び出てくるのが、わずかに大冒険を暗示するのみで、終わりを告げる ppp の「神の救済の鏡」は鳴らぬ。あの謎の「神」の依代中、この長大な曲は、これに大冒険を魅惑するのみです。

本楽曲解説中に、誤りや断定不安の点がございます。ご指摘下さいませようお願い申し上げます。

jizma.yozma@gmail.com 南木 竜馬

2015年

★7月16日(木) 午後2時 開演 カワイ表参道2階コンサートサロン「バウゼ」 主催/カワイ音楽院会

★7月26日(日) 午後2時 開演 わたなべ音楽堂 Belfie Saal 主催/わたなべ音楽堂

♪わたなべ音楽堂
Belfie Saal

★8月23日(日) 午後1時30分 開演 京葉銀行文化プラザ 音楽ホール 主催/コンセルヴァトワールZ